



ハッピーこまちさんと  
 やしおの公共施設についてみんなで考えてみよう!!

3分で読める!! アセット通信

アセット通信  
 2017年7月  
 第3号

# 市が担う ライフラインの維持にかかる費用

アセット通信第2号では、古くなった建物の維持や改修、建替えに40年間で約766億円（年間約19億円）かかることをお伝えしました。また、建物は建てるお金よりも、建ててからのお金が3~4倍かかることをお伝えしました。

それでは、公共施設以外のライフラインにかかる費用はどのくらいなのでしょう。



地下の配管



上水道施設

## ライフラインって何だろう？

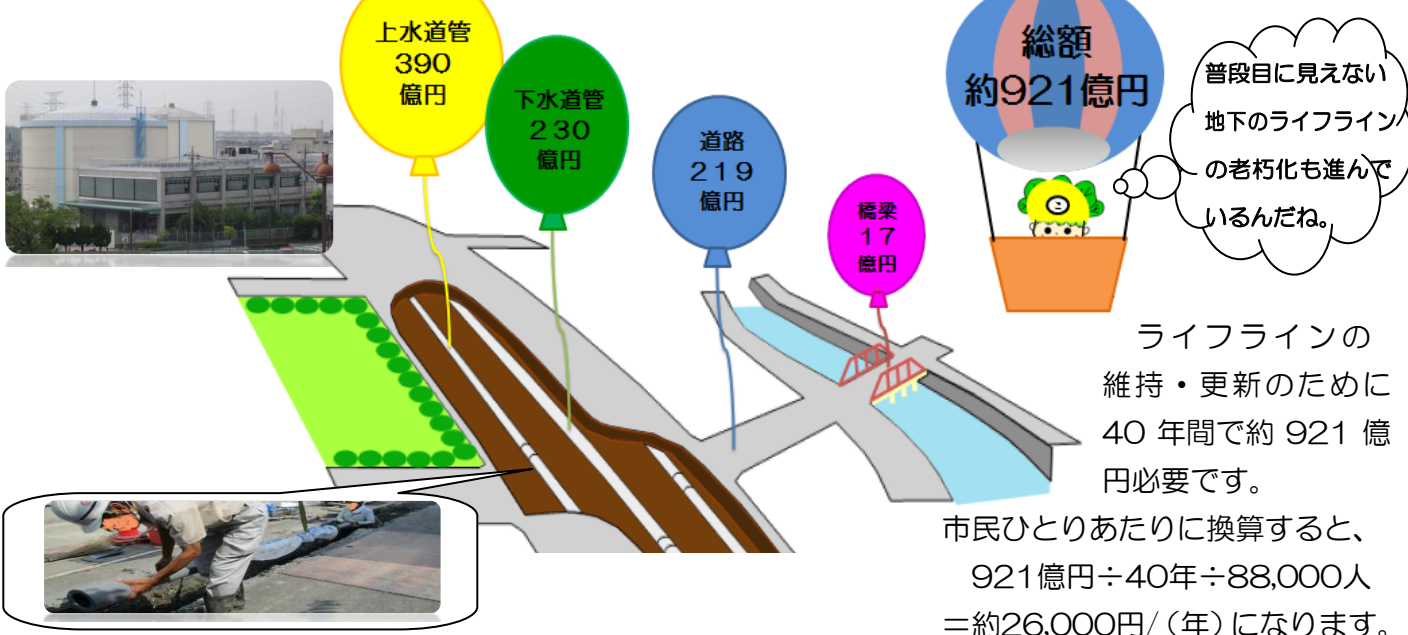
※ライフラインとは…みなさんの生活の基盤となるものの総称です。

ライフラインの一覧	道路	橋梁	排水機場・中継ポンプ場	屋外ポンプ場	調整池	左の表が八潮市のライフラインです。どれも普段の生活に必要なものです。
上水道建物・上水道構築物	リサイクルプラザ	上水道管	下水道管	道路照明灯・道路反射鏡・防災行政無線	公園	

ライフラインの老朽化状況	排水機場・中継ポンプ場	17のポンプが耐用年数を経過
	屋外ポンプ場	9のポンプが耐用年数を経過
	上水道建物	20の設備が耐用年数を経過
	リサイクルプラザ	大半の設備が耐用年数を経過

第1号では、公共施設の築年数についてお示しし、老朽化が進んでいることをお伝えしましたが、ライフラインの老朽化も深刻になっています。

## 40年間でかかる主なライフラインの維持・更新費用



第4号では、八潮市の将来の人口と高齢化の進展についてお話しします。

発行 八潮市役所  
 アセットマネジメント推進課  
 TEL:996-2111(内:470)